

日本原子力学会 核燃料部会
令和8年度第1回運営小委員会議事録

日時 : 令和8年5月13日(水) 16:00~17:50 於 日本原電本店(web 併用)
出席者 : 黒崎部会長, 宇田川副部会長, 坂本副部会長, 阿部委員, 有馬委員, 宇埜委員, 浦野委員, 大石委員, 長内委員, 香川委員, 片山委員, 樽松委員(代理 : NDC 佐藤さま), 佐藤委員, 澤委員, 篠原委員, 園田委員, 鶴田委員, 中西委員(代理 : 原電 安元さま), 松永委員, 森本委員, 西岡(記)

議事 :

0. 開催挨拶

運営小委員会開催にあたり, 黒崎部会長からご挨拶をいただいた。

1. 前回議事録等の確認(資料1)

前回(令和7年度第6回)議事録は, 確認済みであり, 配布のみ。

2. 令和8年度核燃料部会業務分担について(資料2)

令和8年度の業務分担について西岡から説明した。ポジションステートメントWG委員は坂本副部会長にご担当いただくこととした。

3. 令和7年度収支実績と令和8年度予算について(資料3)

令和7年度の収支実績及び令和8年度予算資料について, 3/12(木)の全体会議から変更ないことを西岡から報告した。

4. 企画小委員会の概要について(資料4)

4/22(水)に開催された企画小委の内容について, 2026年度名簿が更新され次回からNDC小方氏から鮎貝氏に交代予定であること, 並びに今後の在り方について若手主体への段階的移行を図るプランB'が望ましいという意見があったことを, 宇田川副部会長よりご報告いただいた。NDC小方氏から鮎貝氏への委員交代については, 今回の運営小委にて承認された。

5. 企画小委の在り方について

黒崎部会長より本件の経緯を改めてご説明いただいた上で, 4/22(水)の企画小委のとおりプランB'が有力であるものの, 次回以降も継続して議論し今年度中には方針を決める旨をお伝えいただいた。

6. 2026年春の年会 学会講演賞の選考について(資料5)

2026年春の年会における学会講演賞の選考結果について, 受賞者は福井大野志氏とJAEA横山氏の2名となったことを坂本副部会長よりご報告いただいた。

7. 2026 年度夏期セミナーについて（資料 6）

夏期セミナーの準備状況について、プログラムが概ね確定したことを篠原委員よりご報告いただいた。今回は民間の会議室を利用するため、会場使用料が昨年度より増額となるが、参加費は部会員 12,000 円程度で近年の設定範囲内で収支成立となる見込み。当該参加費の設定については、今回の運営小委にて承認された。

8. 2026 年秋の大会における企画セッションについて（資料 7）

大石委員に作成いただいた企画セッション提案書について、5/12(火)に事務局に提出したことを西岡より報告した。今回は「高温領域における核燃料の挙動はどこまで理解されているか」というテーマで、主に SA 時の燃料挙動が講演のメインになる予定。

9. 核燃料部会報の企画記事について（資料 8）

2026 年 7 月に発行予定の核燃料部会報 (No. 61-2) の内容案を西岡から報告した。特別寄稿については、2026 年春の年会 学会講演賞受賞者である福井大野志氏、JAEA 横山氏に依頼することとし、坂本副部長より兩名の連絡先を連携いただくこととした。受賞者からの寄稿に際しては、受賞者のリストアップ漏れがないようにと黒崎部長よりコメントがあった。また、関係機関便りについては、有馬委員に寄稿の承諾をいただいた。企画セッション記事については、2026 年春の年会で使用した発表資料を部会報に載せてはどうかとのコメントあり。

10. 今後の核燃料部会 HP 管理の体制について（資料 9）

今後の核燃料部会 HP 管理体制について、①専用 PC・ポケット WiFi を年間契約する案、②「さくらレンタルサーバー」と提携している「ココナラ」に作業代行依頼する案を原電 安元さまよりご提案いただいた。議論の中で、上記案の他に、③「さくらレンタルサーバー」にアクセスできる組織の担当者に管理いただく案、④HP 管理のノウハウがある個人を新規に探す案も挙げられた。電中研に HP 管理に詳しい方がおられるとのことなので、園田委員に確認いただくこととした。また、今後 6 か月以内に新管理体制に移行する必要があるため、次回運営小委では方針を決めることとした。

11. アジアジルコニウム会議とジルコネットについて

6 月にソウルで開催予定の第 7 回アジアジルコニウム会議の調整状況について、坂本副部長よりご説明いただいた。本件については、4 月のメール審議で核燃料部会が担当することを審議済みであり、現在進行形で中国・韓国と MOU 締結に向けて調整中。

1 2. 核燃料部会運営小委員会における燃料ロードマップの位置づけ

核燃料部会の燃料ロードマップ WG について、ジルコネットと同様に位置づけが不明確であるため、今後その位置づけを明確にすべきである旨を黒崎部会長にご説明いただいた。次回の運営小委で位置づけについて案を提示することとした。

1 3. 部会等運営委員会からの連絡事項（資料 10）

3/26(木)に開催された部会等運営委員会の内容について、篠原委員よりご報告いただいた。コンベンションセンターを利用した 2026 年春の年会は評価良好であったこと、並びに支部持ち回りによる開催決定方式は廃止して事務局主導型となったことを主にご報告いただいた。

1 4. TopFuel2026 の準備状況について（資料 11）

TopFuel2026 の準備状況について、主にプログラム委員会の進捗状況と会場レイアウトについて園田委員よりご説明いただいた。直近では 5/15(金)にプロシーディング（ドラフト版）の投稿メッセを迎え、6,7月にかけてレビューを実施する予定。また、会場レイアウトに関しては、今回はスポンサー多数で黒字化が見込めるため、バンケット会場を手厚くしてはどうかとコメントあり。

1 5. 日韓学生・若手研究者交流事業運営小委の交代について（資料 12）

日韓学生・若手研究者交流事業運営小委（以下、日韓小委）について、現在は核燃料部会より宇埜委員にご担当いただき、日韓小委のグループⅡ（核燃料部会、核融合工学部会、材料部会、水化学部会）の代表を務めていただいているが、宇埜委員のご退官により後任選出が必要になった旨を坂本副部会長にご説明いただいた。本件については、国際担当の坂本副部会長にご担当いただき、グループⅡの代表決定に向け、他部会と協議していただくこととした。

1 6. Japan-Korea Joint Workshop on Nuclear Materials and Fusion Engineering への対応について（資料 13）

標記ワークショップの運営について、材料部会長の笠田教授（東北大）より核燃料部会に協力依頼があった旨、坂本副部会長よりご説明いただいた。核燃料部会としては本件に参画することとし、窓口は坂本副部会長にご担当いただくこととした。核燃料部会からの組織委員は坂本副部会長と阿部委員にご担当いただくこととし、Invited Talk の選出も同両名に対応いただくこととした。

1 7. その他

令和 8 年度第 2 回運営小委は 7/14(火)に実施予定であることを周知。また、1F 事故 15 年特集の学会誌寄稿については、電中研の尾形前部会長に寄稿いただいたことを黒崎部会長よりご説明いただいた。以上